

福音の園だより

平成十八年度「高齢者雇用優良事業所協会会長賞」受賞

TBSラジオ『メイ』のいきいきモーニング」取材放送

グループホーム・デイサービス介護保険事業者指定

350-0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一

特定非営利活動法人 福音の園・埼玉 事務局

☎049-230-1111 FAX230-1112

福音の園® Gospelgarden®は有限会社シヤロンの商標

ボランティア体験プログラム参加者の声

人生で初めてのボランティア活動

この度は、三日間ボランティアを受け入れて頂き、ありがとうございました。私は、このボランティア活動が人生で初めてでした。（中略）



一日目は、少し緊張で固まりぎみでしたが、お掃除をしました。掃除機で寝ているところを掃除するのは、ちょっと抵抗がありましたが、慣れていくうちに、パパッと素早く動けるようになりました。

二日目は、元気のいい〇〇さんという方が、とてもお話しやすいように接してもらい、楽しくボランティアが出来ました。写真も撮ってもらったり、色々なお話ができてすごく居心地がよかったです。（中略）

三日目は、少し慣れてきたので色々となせた気がしました。〇〇さんにお茶出しが出来るようになって、お話はしてませんが、距離がちぢまった気がしました。（中略）私のボランティア活動が、福音の園でできて

てもよかったです。いい大人になっていくように努力していきます。ありがとうございました。（高3 S・H）

利用者の方が自然な状態で居られ、

以前、グループホームに勤務しておりましたが、広い台所、そばには小川が流れ、そして、公園も隣接しており、又、スタッフの方の笑顔。何より、利用者の方が、大変自然な状態で居られ、わずかな時間ではありましたが、良い経験をありがとうございました。

初めて短時間のお邪魔した者でさえ、楽しい時間を頂き、これが利用者の方にとって悪いはずはない。やはり環境の大切さを感じた次第です。金魚すくい、久しぶりに見学だけでも、楽しかったです。認知症の方に限らず、“人”は環境が大切な要素であると思います。（中略）又、スタッフの方が、優しく、バス

停ままでの道のりをわかり易く教えて頂き、ありがとうございました。（T・K）

お便り紹介

医者から胃ろうを勧められたが、

いつも「福音の園だより」を送っていただき、有難うございます。第127号の「延命治療はしないで下さい」は共感して読みました。私たち夫婦は、5年前に母を天に送った時、延命治療をお断わりし、自宅で看取り、天に送りました。医者から胃ろうをすればあと10年もつかもしれないと言われましたが、もう87才でしたのでお断わりし、それで良かったと思っています。（後略）。（N・S）



祝 二〇一五年クリスマス

『おめでとうの町で、あなたがたのために、救い主がお生まれになった。この方こそメシアです。』

新約聖書 ルカの福音書 2章11節

理念・方針説明

「臨床体験」が理念・方針を明文化させた

グループホーム 福音の園・川越 ホーム長 杉澤 卓巳

高齢者ホームにおける仕事は、介護技術(支援技術)

と共に、支援させていただく高齢者の人格と心の世界に深く関わることが求められます。特養ホームに在職中、相談員業務に必須な「高齢者施設カウンセラー養成講座」(七ヶ月コース)を受講した。講師が「本日の演習は不倫した主婦から求められた相談援助設定です。思わず、「先生、高齢者ホームの仕事とは、場違い」な演習ではありませんか? それに、そんな人の相談は言語道断です!」と勢いよく口走ってしまいました。

出鼻を挫くじかれた講師は、すぐに機転を働かせて、この日の講座・単元時間を「実地臨床」としました。講師の前に呼ばれて着席した私に、「目をつむり、肩の力を抜きなさい。お父さんの顔を思い浮べなさい! お父さんに向かって『バカヤロー!』と叫びなさい!」

「バカヤロー」、「声が小さい。もっと大きな声で」、「バカヤロー」、「まだ声が小さい」「バカヤロー...」。四〇数名受講者中、唯一 得難い「臨床体験」でした。25年前の この体験が基礎になり、『理念と方針』

「一、確かな支援技術に基づいた 心に触れる優しい支援の実践」「三、マッスロー・8つの欲求(生理的欲求と精神的欲求)に 応える支援を目指す」が誕生した。『神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。』

(新約聖書 ヨハネ福音書 3章16節) 神が愛される「世」には、不倫して相談を求めてきた主婦も、「そんな人の相談は言語道断!」と放り出す(締め出す)「血も涙も無い、冷酷な福祉専門職」者も含まれているのです。

御礼

十一月全員研修 指導 第一法規(株)様 (港区)